

令和5年度その他の事業

関之尾町フットパスコース作成事業（都城市委託事業）

「フットパス」とは「田園地帯や街並みなど地域に昔からある風景を楽しみながら歩くこと」です。地域の見せ場をつないだコースを整備し、市内外からの参加者に昔からある風景を楽しみながら歩いてもらったり、地域の人との交流を深めてもらったりして、交流人口の拡大や、地域の活性化を目指すものです。

高崎地区では令和3年度からコース作成に取り組み、笛水コースや大牟田コースなど数コースができています。大牟田コースは「まちの人との会話と川のせせらぎを楽しむコース」として「大牟田せせらぎコース」という名前が付けられており約3.7Kmを2時間程度で歩く設定となっています。



都城市が進めている関之尾公園リニューアル事業が令和5年度で終了し、令和6年度にはグランドオープンの予定です。それに合わせて関之尾町フットパスコース作成に、北九州市立大学地域創生学群の学生と連携して取り組みます。現地調査やワークショップを開いてコース名を決めたり、マップづくりの検討をしたりします。興味のある方は是非ご参加ください。

庄内地区空き家調査に取り組みます

今年度は地域課題のひとつである庄内地区内の空き家調査を実施することになりました。総務省の平成30年住宅・土地統計調査によると、都城市の空き家は16,700戸、総住宅数に占める空き家率も平成15年の10.6%から上昇、平成30年では19.2%と過去最高となっています。（全戸調査ではなくサンプル調査です。）庄内地区にも相当数の空き家があると考えられますが、正確な状況は把握できていません。

そこで庄内地区自治公民館連絡協議会の協力を得て、下記の目的で空き家調査を行うことになりました。

- ①. 庄内地区全体の空き家の状況を把握する。
- ②. 居住可能な空き家で所有者の了解が得られる場合は、都城市地域おこし協力隊や不動産業者の協力を得て、都城市空き家等情報バンクに登録し移住促進を図る。
- ③. 「特定空家等」を把握し危険防止を図る。
 - ※特定空家等とは下記の状態にある空家等をいう。
 - ・倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態。
 - ・著しく衛生上有害となるおそれのある状態。
 - ・適切な管理が行われないことにより著しく景観を損なっている状態。
 - ・その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態。

実施時期は各自治公民館によって異なります。

庄内ふれあい号運行状況

年度	運行日数	乗客数	1日平均	乗客数はコロナの影響で令和3年度は3千人を下回っていましたが、令和4年度は増加しました。
令和3年度	192日	2,955人	15.4人	
令和4年度	193日	3,611人	18.7人	

庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町12692-2 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <https://www.bonchi.jp/shonai/>

みんなで作る 住みよいまち 庄内
庄内地区まちづくり協議会だより



令和5年7月発行 VOL.27

令和5年度の庄内地区まちづくり協議会役員体制

令和5年4月25日（火）令和5年度庄内地区まちづくり協議会定期総会が開催され、第1号議案～第5号議案すべてが承認されました。新年度の役員体制は下記の通りです。

※総会資料はホームページに掲載しています。

<https://www.bonchi.jp/shonai/docu/soukai2023.pdf>

会長	徳留 次男
副会長	清水 経民
々	前田 和憲
監事	武田 博英
々	鮫島 アイ子

以上総会承認

会長委嘱

顧問	釘村 美千也
事務局長	朝倉 脩二

自治公民館活動部会長	新地 幸三郎
// 副部会長	花原 憲明
地域づくり部会長	松原 順一
// 副部会長	竹中 義岳
// 幹事	黒木 優一
教育文化活動部会長	花原 恵子
// 副部会長	石塚 悟
健康福祉部会長	岡林 和子
// 副部会長	満永 浩
環境整備部会長	花房 剛
// 副部会長	坂元 誠

今年度各イベント等の日程が決まりました

第24回庄内地区スポ・レク大会	令和5年10月8日（日）
第38回庄内ふるさと祭り	令和5年11月4日（土）～5日（日）
第5回庄内地区防災訓練	令和5年11月19日（日）
第29回庄内川一周YOU遊駅伝大会	令和5年12月3日（日）

庄内地区一斉野焼きを行いました

令和5年1月22日、害虫駆除を目的として、庄内川堤防の一斉野焼きを行いました。午後1時から、自治公民館ごとに決められた区域の堤防の火入れを開始しました。20日から乾燥注意報が出ていて心配しましたが、21日夜に解除になり、予定通り実施出来ました。13時半ごろからポツポツと雨が降ってきましたが、本降りにはならず16時半までに何とか終了出来ました。



第6回庄内地区子どもの声を聞く会

令和5年1月26日（木）庄内地区青少年育成協議会と、まち協の共催で、第6回庄内地区子どもの声を聞く会を開催しました。第4回と第5回は新型コロナウイルス感染症の影響により、作文発表のみでしたので3年ぶりの開催となりました。青少協会長の庄内小学校鹿嶋校長先生のあいさつのもと、地区内各小学校から1名、庄内中学校1名が意見を発表しました。（1名は欠席）

どの発表も庄内の魅力や、良い所がしっかり伝わってくる内容でした。その上でさらに庄内を発展させるための提案を考えてくれていて、参加した皆さんは感心して聞いていました。

第6回庄内地区子どもの声を聞く会発表者

庄内小学校6年 中野 くるみ 「庄内ドリーム」
 菓子野小学校6年 前田 結秋 庄内地区の素敵な合言葉
 乙房小学校6年 後藤 みずき 人と人がつながる乙房町
 庄内中学校1年 外山 瑠菜 「庄内町の魅力」
 庄内中学校2年 松浦 茜 良さであふれる庄内地区
 (学年は子どもの声を聞く会当時)
<https://www.bonchi.jp/shonai/docu/kodomo2023.pdf>



滝の駅東屋解体移築事業(都城市補助事業)

関之尾滝は近年観光バスなどで訪れる観光客が増加していましたが、雨の日や日差しの強い日など休憩施設がなくて不便でした。庄内地区まちづくり協議会では平成25年度に「滝の駅せきのお」前広場に休憩用の東屋を設置し、観光客に喜ばれてきました。このたび都城市による関之尾公園リニューアル事業の開始に伴い、東屋を解体することになりましたが、庄内地区の千草自治公民館から同館敷地内に移築して住民交流の場として活用したいとの申し出があり、地域活性化を目的としてこの事業を実施しました。都城市滝の駅東屋解体移築事業補助金：1,378,000円



千草自治公民館移築後(令和5年2月)

地域防災力向上事業報告会(宮崎県事業)

今年度庄内地区では地域防災力向上事業(宮崎県事業)に取り組みました。この事業はNPO法人宮崎県防災士ネットワークの防災士さんが各自治公民館に入り、一緒にまち歩きをして危険個所の洗い出しや、ワークショップによる課題の抽出を行い、地域の防災力向上を図ることを目的としています。防災まちあるきは新型コロナウイルス感染拡大により思うように実施できなかった地域もありましたが、令和5年3月8日(水)地域防災力向上事業報告会を開催しました。乙房自治公民館馬場分館、宮島自治公民館、今屋自治公民館がそれぞれの事業報告を行いました。子どもたちも参加して実施した地区もあったようです。令和5年度も本事業は引き続き実施する予定です。



令和5年度新年度意見交換会を開催しました

5月31日(水)新年度意見交換会を今年も地区公民館で人数を押さえて実施しました。徳留会長のあいさつの後、参加者の自己紹介や団体紹介を行いました。

- ① 黒木優一議員、畑中ゆう子議員
- ② 庄内地区市民センター
- ③ 庄内中学校
- ④ 庄内小学校
- ⑤ 乙房小学校
- ⑥ 菓子野小学校
- ⑦ 庄内地区自治公民館連絡協議会
- ⑧ 庄内地区民生委員児童委員協議会
- ⑨ 庄内地区まちづくり協議会



その後意見交換を行いました。国の基準が厳しくなって公園の児童用遊具の使用禁止が増えている件とか、ゴミのポイ捨ての問題など多くの意見が出ました。(参加者37名)

第3期都城市地域活性化事業(令和3~6年度)

有害鳥獣対策事業(令和4年度)

この事業は平成30年度から継続事業として、田畑に被害を与えたり通学路に出没したりしているイノシシ・シカを駆除するため、地域住民の有志の方が捕獲班を結成し、まちづくり協議会で購入した罠いびくり罠での捕獲に取り組んでいるものです。最近ではイノシシの出没地域が住宅地へも拡大し、民家の庭先まで出没してきている状況にあります。令和4年度は有害鳥獣対策事業を継続して推進するため、引き続き施設賠償責任保険に加入しました。今後も、整備した罠等を有効活用し、住民が安心して暮らせる環境づくりを推進していきます。令和4年度の捕獲数は、イノシシ11頭、シカ1頭、事業開始から令和5年3月31日までの捕獲数はイノシシ37頭、シカ5頭です。都城市地域活性化事業補助金：76,020円(施設賠償責任保険料)

菓子野地下式横穴墓群看板設置事業(令和4年度)

庄内地区で発掘調査された古墳時代の遺跡は、菓子野小学南側の菓子野地下式横穴墓群に集中しており、現在までに20基が見つかり19基が調査され、人骨のほか鉄の武器や珍しい貝の腕輪など、当時の貴重な副葬品等が見つっています。現在は調査が終わり埋め戻されていますが、菓子野小学校の校庭に看板を設置し、写真や地図などで発掘当時の様子が分かるようにし、地域の人や児童生徒に伝えていくことを目的として設置しました。校庭側は児童向け、道路側は一般向けの説明内容とし、説明文は、都城市教育委員会文化財課に依頼しました。都城市地域活性化事業補助金：283,000円、



今後取り組む予定の地域活性化事業

事業名	
1	有害鳥獣対策事業 平成30年から継続、令和4年度実施済み 令和5~6年度継続事業として実施予定
2	庄内歴史読本作成事業 平成23年度から庄内中学校1年生の地域巡見学習を支援し、庄内地区の史跡めぐりを行っている。平成28年度に地域巡見学習の副読本として「庄内歴史読本」を刊行したが、在庫が少なくなったので第2版を増刷する。令和5年度
3	昔を語る動画作成事業 庄内地区は都城島津家関係の史跡が多く残り、また明治の初めには三島通庸により画期的なまちづくりが行われた。このような歴史は地域の住民に脈々と語り継がれ、郷土誌「庄内」に多くが記録され貴重な資料となっている。この事業では昔を知る方々に生きた言葉で語ってもらい、後世に伝えていくことを目的とする。令和5年度
4	防犯灯設置事業 集落のはずれや中高生の通学路などの条件を満たす場所に防犯灯を設置する。場所は自公連で調整し23カ所に決定。令和5年9月補正予定。
5	防災対策環境整備事業 自治公民館長を通じて公民館の保有する防災資機材を調査し不足する資機材を洗い出した。大型台風や大地震等の自然災害により家屋倒壊や倒木による道路封鎖等が発生した場合を想定し、人命救助や復旧活動に必要な資機材を整備する。また、防災用無線機の設置により、地域で発生している情報の共有化を図れる体制を整える。令和5年9月補正予定。